

## リスク回避度と結婚のタイミング\*

2012年4月9日

関田 静香<sup>†</sup>

### 要旨

本稿では、リスク回避度の違いが、結婚のタイミングに与える影響についての実証分析を行っている。大阪大学社会経済研究所が実施した「くらしの好みと満足度についてのアンケート」から得られた個票データを用いて分析した結果、男性については、リスク回避的であることが結婚のタイミングに有意な影響を与えていないが、リスク回避的な女性は、リスク回避的でない女性と比較して、結婚のタイミングが早いという結果となった。一方、アメリカのデータを用いた先行研究では、男女共に、リスク回避的である人は、そうでない人よりも早く結婚し、その傾向は男性においてより強いという結果になっている。この日米の結果の違いは、国の制度・文化・慣習の違いが、リスク回避度と結婚のタイミングとの関係に影響を与えることを示唆しているのかもしれない。

---

\* 本研究は、大阪大学 21 世紀 COE プロジェクト「アンケートと実験によるマクロ動学」及びグローバル COE プロジェクト「人間行動と社会経済のダイナミクス」によって実施された「くらしの好みと満足度についてのアンケート」の結果を利用している。本アンケート調査の作成に寄与された、筒井義郎、大竹文雄、池田新介の各氏に感謝する。また、本稿の執筆にあたり、文部科学省科学研究費補助金（基盤研究(B)）「ライフイベントと経済行動：家族の相互扶助機能の観点から」（課題番号：23330094）からの助成を受けたことにも、記して感謝を申し上げる。

<sup>†</sup> 京都産業大学経済学部 住所：〒603-8555 京都市北区上賀茂本山、電話：075-705-3206、E-mail：sekita@cc.kyoto-su.ac.jp